

## my.cnf変更箇所リスト

No.	必須/参考	初期値	astrollインストール後	備考
1	必須	なし	default_password_lifetime = 0	
2	必須	なし	log_timestamps=SYSTEM	
3	必須	なし	skip-character-set-client-handshake	
4	必須	なし	explicit_defaults_for_timestamp = true	
5	必須	なし	character-set-server = utf8	
6	必須	なし	max_connections=100	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
7	必須	なし	sql_mode=NO_ENGINE_SUBSTITUTION,STRICT_TRANS_TABLES	
8	必須	なし	innodb_buffer_pool_size = 256MB	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
9	必須	なし	innodb_file_per_table	
10	必須	なし	innodb_file_format=Barracuda	Barracudaを指定することでDBファイルが圧縮されるため、多少のCPUパワーと引き換えに十分なパフォーマンスを引き出してくれる。 ※インデックスの最大文字列数も716バイト→3017バイトに拡張される。
11	必須	なし	innodb_large_prefix	
12	参考	なし	innodb_log_buffer_size=32M	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
13	参考	なし	innodb_log_file_size=128M	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
14	参考	なし	min_examined_row_limit=100	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
15	参考	なし	key_buffer_size=128M	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
16	参考	なし	join_buffer_size=64M	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
17	参考	なし	max_allowed_packet=8M	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
18	参考	なし	read_buffer_size=32	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
19	参考	なし	read_rnd_buffer_size=32	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
20	参考	なし	sort_buffer_size=32	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
21	参考	なし	query_cache_limit=16	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
22	参考	なし	query_cache_size=256M	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
23	参考	なし	query_cache_type=1	
24	参考	なし	max_heap_table_size=32M	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
25	参考	なし	tmp_table_size=32M	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。
26	必須	なし	max_sp_recursion_depth=20	MySQLのファンクションにて再呼び出しの際に必要。
27	必須	なし	transaction-isolation=READ-COMMITTED	トランザクションの分離レベルを指定。 「READ-COMMITTED」は多くのデータベースシステム (Oracle、PostgreSQL、SQL Server) でデフォルトの分離レベル。 MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastrollの利用方針と合わないため変更する必要がある。
25	参考	なし	validate_password=OFF	